



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 日東精工株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒賀 誠
(コード : 5957、東証プライム市場)
問合せ先 取締役 財務戦略本部本部長 松本 真一
(TEL. 0773-42-3111)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年 5 月 13 日開催の取締役会において、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るために現状の再分析と認識の整理を行い、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

当社は 2024 年末時点で PBR1.0 倍を下回る状況にあります。この状況における課題は特に売上規模と利益率にあると捉えており、株価が低調に推移しているのも収益面での課題によるものと認識しております。

(単位：百万円)

	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績	2025 年度予想
売上高	44,021	44,744	47,069	50,100
営業利益	2,931	2,614	3,326	3,600
ROIC	5.7%	5.3%	6.7%	
ROE	6.1%	5.5%	6.6%	
PBR	0.59 倍	0.59 倍	0.66 倍	

2. 現在の取り組み状況と今後の方針

2025 年までの中期経営計画期間中においては、売上規模の拡大および利益率の改善を通じた ROIC 改善、ROE 改善に特に注力します。また、経営資源の効率的な活用や適切な資本配分、投資家との対話を通じ、PBR 改善に取り組みます。

1) 売上規模の拡大および利益率の改善

現中期経営計画とのギャップを埋めるべく、各セグメントにおける資本効率性、成長性、利益率の分析に基づく施策を展開します。

2) 経営資源の効率的な活用と資本配分

現中期経営計画期間における 1 株あたり 18 円を下限とする累進配当や、余剰資金に応じた自己株式取

得を実施中であり、今後も継続して行います。また、投下資本回転率を高めるため、非事業資産の見直しや政策保有株式の売却などを通じた資産圧縮も実施しており、それにより創出した資金と営業 CF を元手に、株主還元と成長投資に適切に配分します。

3) 開示強化・ガバナンス強化および投資家との対話

将来の成長性に対する投資家の適切な理解を得られるよう、IR 活動強化やガバナンス強化、投資家との対話などの継続に加え、新規事業の進捗状況についても積極的に開示を行います。

なお、詳細につきましては添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以 上